



(公財)日本学校体育研究連合会

第54回全国学校体育研究大会広島大会

研究紀要

大会主題

「わかる・できる・かかわり合う」体育学習

—運動への関心や意欲を高め、自ら考えたり

工夫したりする力を身に付ける体育学習の充実—



御挨拶

(公財)日本学校体育研究連合会
会長 本村 清人

第54回全国学校体育研究大会広島大会を、ここ、広島文化学園HBGホールで全体会を、そして、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校合わせて12の学校で分科会を盛大に開催できますことを主催者のひとりとして、御参会の皆様方と共に喜びたいと存じます。

日本学校体育研究連合会（通称、学体連）は、歴史的に見ますと、発足は昭和22年結成の日本体育指導者連盟です。その後、改組・名称変更しつつ、平成25年4月から、「公益財団法人」日本学校体育研究連合会として新たな歩みをしているところです。公益目的事業として、①全国学校体育研究大会の開催・支援事業、②指導資料作成・配布事業、③指導者講習会の開催事業、④全国学校体育研究最優秀校・優良校・功労者表彰の表彰事業、⑤広報事業等を大きな柱としております。

さて、広島大会は、大会主題を、『わかる・できる・かかわり合う』体育学習ー運動への関心や意欲を高め、自ら考えたり工夫したりする力を身に付ける体育学習の充実ーとし、さらには各学校種に応じて分科会研究主題を掲げて、広島県におけるこれまでの研究実践の成果を踏まえ、公開授業・保育をもとに主題に掲げる体育学習の在り方について提案いただけることとなっております。全体会のシンポジウムはもとより、大会二日目の分科会が多くの方の御参加を得て公開授業と熱心な研究協議が成功裏に行われることを御期待申し上げます。

次期の学習指導要領改訂に向けた中央教育審議会では、教育課程企画特別部会を設け、本年8月、論点整理を発表しました。この中で、育成すべき資質・能力として、①何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）、②知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）、③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）という「3つの柱」で整理し、強調しています。国立教育政策研究所から提案されていきました「21世紀型能力」（基礎力、思考力、実践力）と見事に一致しています。なお言え、ば、「生きる力」における「確かな学力」をグローバルな視点から捉えていると考えることができます。

体育・保健体育では、これまで運動に親しむ資質や能力とは何か、実践的に研究を進め、授業づくりに励んできました。広島大会を契機に一層の充実を図っていきたいと存じます。そのためには、先輩諸氏の実績を中堅教員が引き継ぎ、発展させ、若手教員を引き立てていかなければなりません。関係の皆様のお力と御協力をお願いいたします。

終わりになりますが、文部科学省はもとより、共催である広島県教育委員会、広島市教育委員会、廿日市市教育委員会、後援である東広島市教育委員会、主管をしていただきます第54回全国学校体育研究大会広島大会実行委員会の皆様方に衷心よりお礼を申し上げます。



御 挨拶

第54回全国学校体育研究大会

広島大会実行委員会

会 長 河 野 一 則

中国山地の山並みや瀬戸内の島々に秋の彩りが濃くなりつつある広島に、全国から大変多くの学校体育に携わる皆様に御参会いただき、第54回全国学校体育研究大会広島大会を開催できますことに、厚くお礼を申し上げます。

広島県では、平成22年度に本大会の開催が決定されて以来これまで、広島の子供たちが、伸び伸びと活動する姿を全国の多くの先生方に見ていただきたいという思いで、大会に向けた準備を進めて参りました。

中でも研究においては、学習指導要領に示されている内容を各教師が十分に理解し、指導と評価が一体となった授業づくりを重視してきました。また、体育学習の内容の体系化の視点を取り入れながら、指導内容の確実な定着に向けた体育学習の充実を図ってきました。さらに本年度からは、広島県教育委員会が取り組んでいる「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づいた指導を推進し、児童生徒の主体的な学びを促す教育活動に取り組んでいます。

そこで本大会では、大会主題を『「わかる・できる・かかわり合う」体育学習－運動への関心や意欲を高め、自ら考えたり工夫したりする力を身に付ける体育学習の充実－』と設定しました。県内の幼稚園2園、小学校4校、中学校2校、附属学校1校、高等学校2校、特別支援学校1校、合わせて12の園・校が、運動に親しむ資質や能力を確かに保証する質の高い体育の授業づくりを目指し、取組を進めてきた成果を発表いたします。

本大会の開催の機会を得たことで、本県の幼、小、中、高、特別支援学校のそれぞれの校種の研究組織がさらに充実したこと、大学等との連携を通して学校体育の研究体制が整備されたことが、私たちにとってかけがえのない財産となりました。

2日間の大会を通して、御参会の皆様には本県が目指す体育学習の在り方を御覧いただき、御意見や御指導を賜りますようお願いいたします。

また本県には、世界遺産である「宮島」や「原爆ドーム」がございます。広島の歴史や文化、瀬戸内の穏やかな海や中国山地の美しい山並みなどの豊かな自然等、様々な魅力にも触れていただければ幸いに存じます。

終わりにになりましたが、本大会の開催にあたり御指導・御支援を賜りました文部科学省、公益財団法人日本学校体育研究連合会はじめ、関係大学の指導助言者、広島県教育委員会、関係市教育委員会の皆様方に厚くお礼を申し上げます。またこの度、表彰を受けられます学校や指導者の皆様にも心よりお祝いと敬意を表し、挨拶とさせていただきます。

目 次

1	御挨拶	（公財）日本学校体育研究連合会会長 本村清人	
2	御挨拶	広島大会実行委員会会長 河野一則	
3	開催要項		1
4	開会式次第		6
5	主催・共催団体関係		7
6	実行委員会役員等		8
7	分科会一覧		10
8	分科会の運営担当		12
9	基調報告		15
10	アトラクション		27
11	解説		31
12	シンポジウム		35
13	特別講演		43
14	分科会研究発表資料		47
	（幼稚園）		
	第1分科会	広島市立山本幼稚園	49
	第2分科会	広島市立基町幼稚園	57
	（小学校）		
	第3分科会	広島市立古市小学校	75
	第4分科会	広島市立戸坂小学校	95
	第5分科会	広島市立口田東小学校	115
	第6分科会	広島市立本川小学校	135
	（中学校）		
	第7分科会	広島市立井口中学校	157
	第8分科会	廿日市市立四季が丘中学校	169
	（附属学校）		
	第9分科会	広島大学附属東雲小・中学校	183
	（高等学校）		
	第10分科会	広島市立沼田高等学校	197
	第11分科会	広島県立広島中・高等学校	209
	（特別支援学校）		
	第12分科会	広島市立広島特別支援学校	223
15	分科会助言者紹介		235
16	広告協賛		245